



アフリカの民間セクター開発のための共同イニシアティブ「エプサ」 EPSA for Africa (Enhanced Private Sector Assistance for Africa)

- 6月7日、アフリカ開発銀行グループと日本政府は、アフリカの民間セクター開発に関する共同イニシアティブ「EPSA for Africa」について、検討内容を取りまとめたコンセプト・ペーパー^(注)を取りまとめた。
- 6月10～11日のG8サミット財務大臣会合において、谷垣財務大臣から、我が国のアフリカ支援に関するイニシアティブの一つとして紹介する予定。

EPSA for Africa の概要

目的：アフリカの民間セクター開発を包括的に支援

主要5分野：投資環境整備、金融セクター強化、経済・社会インフラ整備、中小零細企業支援、貿易・直投促進



技術支援
無償援助

信託基金 (FAPA: Fund for African Private-Sector Assistance)

- ・ アフリカ開発銀行グループに、中小零細企業育成、金融機関の能力向上、公共部門のガバナンス強化のための技術支援等を実施する基金を設置。
- ・ 資金規模は2億ドルを目標。日本は、5年間で2割相当の貢献をする用意があり、その一環として、基金立上げ時に2,000万ドルを拠出。

融 資

民間セクター育成・投資基盤整備等支援のための融資の拡充

- ・ アフリカ開発銀行グループと国際協力銀行との協調融資促進スキーム「ACFA (Accelerated Co-Financing scheme for Africa)」等を導入。アフリカ開発銀行の知見を活かして資金供給の迅速化・効率化を図り、民間セクター開発を支援。
- ・ 日本から、融資拡充の財源として、国際協力銀行 (JBIC) を通じて、5年間で10億ドルを上限として円借款を供与。

(注) このコンセプト・ペーパーは、我が国が1月28日に提案したアフリカ支援策「アフリカの民間セクター開発に関する国際金融機関の役割強化について」の主要な柱である、アフリカ開発銀行グループを活用した民間セクター開発支援策について、具体化に向けた検討内容を共同で取りまとめたもの。今後、さらに協議を進め、所要の手続きを経て正式決定する見込み。

「開発途上国とは」(世界銀行「世界開発報告 2003」より作成)

国・グループ (括弧内は 2001年の一人 当たりGNI (国民総所 得))	人口増 加率 (年 率%)	一人当 たりG NI (ド ル)	平均余 命(年)	乳幼児 (5歳 未満) 死亡率 (人/ 1000 人)	成人非 識字率 (%)	1日1 ドル以 下の所 得人口 比率 (%)	GDPに占める産 業比率(%)		
							農 林 水 産	鉱 工 業	サー ビス
日本 (35,990 ドル)	0.3	35,990	81	5	—	—	1	32	66
低所得国 (~745ドル)	2.0	430	59	115	37	n.a.	23	32	45
低位中所得国 (746~2,975 ドル)	1.1	1,240	69	42	15	n.a.	12	41	46
高位中所得国 (2,976~ 9,205ドル)	1.3	4,460	71	30	10	n.a.	7	35	59
低・中所得国	1.5	1,160	64	85	25	23	12	37	51
東アジ ア・太平洋	1.2	900	69	45	15	15.6	14	48	37
欧州・中央 アジア	0.2	1,960	69	25	3	5.1	10	34	56
ラテン・ア メリカ	1.6	3,560	70	37	12	11.1	7	34	59
中東・北ア フリカ	2.1	2,000	68	54	35	2.2	n.a.	n.a.	n.a.
南アジア	1.9	450	62	96	45	36.6	24	26	49
サブ・サハ ラ・アフリカ	2.6	470	47	162	39	49.0	15	29	57
世界全体 (5,140ドル)	1.4	5,140	66	78	n.a.	n.a.	5	31	64